

# 「たまのつながりネットワーク」

## 大崎小学校での研修の様子をお伝えします。

令和3年3月4日（木）に玉野市立大崎小学校で、地域連携に関する校内研修が開催されました。会には、大崎小学校の教職員の他にも、地域、保護者、八浜中学校の教職員、岡山県生涯学習センター、学校教育課職員、社会教育課職員など様々な立場の方が参加し、地域連携について学びました。今回はその様子を一部お伝えします！

### 〈研修の内容（一部）〉



今日は、なぜ地域と学校の連携・協働が必要なのか、皆さんで考えてみましょう。（講師）岡山教育事務所生涯学習課 益富社会教育主事

○岡山県の多くの市町村が消滅可能性都市であること（玉野市も）

※「日本創成会議」2014年5月発表

○変化が激しく、予測困難時代がやってくること（AIの台頭、Society5.0）

未来の創り手となる子どもたちに必要な力を育成するには、

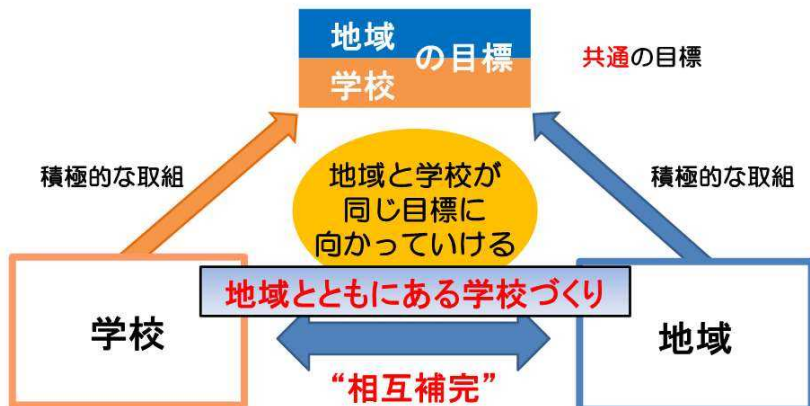
**学校と地域の連携・協働が必要不可欠**

そもそも「協働」ってどういうこと？

「協働」するにはどうすればいいの？



### これからの地域と学校の関係



共通の目標が設定されると、お互いに前向きな姿勢で取り組むことができ、子どもたちへの教育効果も大いに期待できる。“**地域と学校が一体**”となって、“**役割分担**”をしながらそれぞれが“**主体的**”に取り組むので“**達成感**”を味わうことができる。

ポイント

地域と学校の共通の目標を

ポイント

役割分担をしながら互いに補い合う

ポイント

関わる人みんなが主体的に取り組むことで、達成感を

【研修資料より】

## 〈アンケートから〉

### (1)【研修】の感想を聞かせてください。

- ・学校、家庭、地域の役割分担の重要性が確認できた。
- ・新しい社会を生きていく子どもたちに力をつけることができるように今までの活動を振り返り、来年に生かしたい。
- ・地域学校協働本部など知らなかったのもっと早く知ってボランティアや地域とのつながりを深めていきたい。
- ・地域連携に対して、これまでよりもう一步踏み込んで、お互いに話したり、協働したりする意欲が湧いた。
- ・地域と学校との『連携・協働』についてそれぞれの強みと役割をもう一度見つめ直そうと思う。地域の方と同じ方向(目標)を意識してもつことができるようにこれからも続けたい。
- ・「連携はよくできているかな。」「でも協働はまだまだだな」と自身の活動を振り返った。



### (2)これから実践していきたいことは何ですか。

- ・すぐにできそうなことは「目標の共有」である。地域連携シート(大崎小独自のシート)を上手く使い、私自身も活動の目的をもう一度はっきりさせようと思う。
- ・毎年同じ活動の繰り返しになっている。活動以外でも、保健室登校や授業に入りにくい子どもへの支援で地域の方と協働できないかと感じた。
- ・今ある事業がなくならないようにしたい。
- ・ボランティアの方ともう少し密な打ち合わせをして、目標を共有することで、有意義な活動にしていきたい。
- ・大崎小は連携を密に行っている学校だと思う。『目標を共有』のレベルアップをしていきたい。



## 〈研修を終えて...〉



大崎小学校  
西川校長先生

今回の研修をきっかけに益富講師の「協働は担任と地域が同じ目標をもつこと」を職員は意識し始めた。意義を見つけたらやらされ感・負担感はなくなくなる。「持続可能な連携」「子どもの人格形成と地域連携」などこれまでになかった感想が職員から出た。今回の研修で、どこへ転勤しても、職員は「風」、地域は「土」、両方で「風土」をつくろうという意識が芽生えた手応えがあった。益富先生、ありがとうございました。

社会教育課では教職員や地域の方への研修のコーディネートを行います。ご希望があればご連絡ください。

玉野市教育委員会社会教育課 (玉野市宇野1丁目27番1号)

TEL : 0863-32-5577 FAX : 0863-32-1329